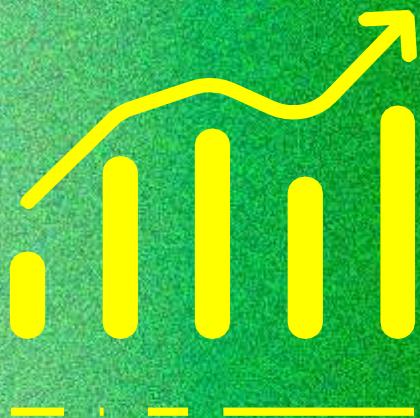


■ 地域内需要動向調査

～ 道の駅リストアステーション販売データ分析より～

【前期報告】



【調査時期】

2023年4月～9月

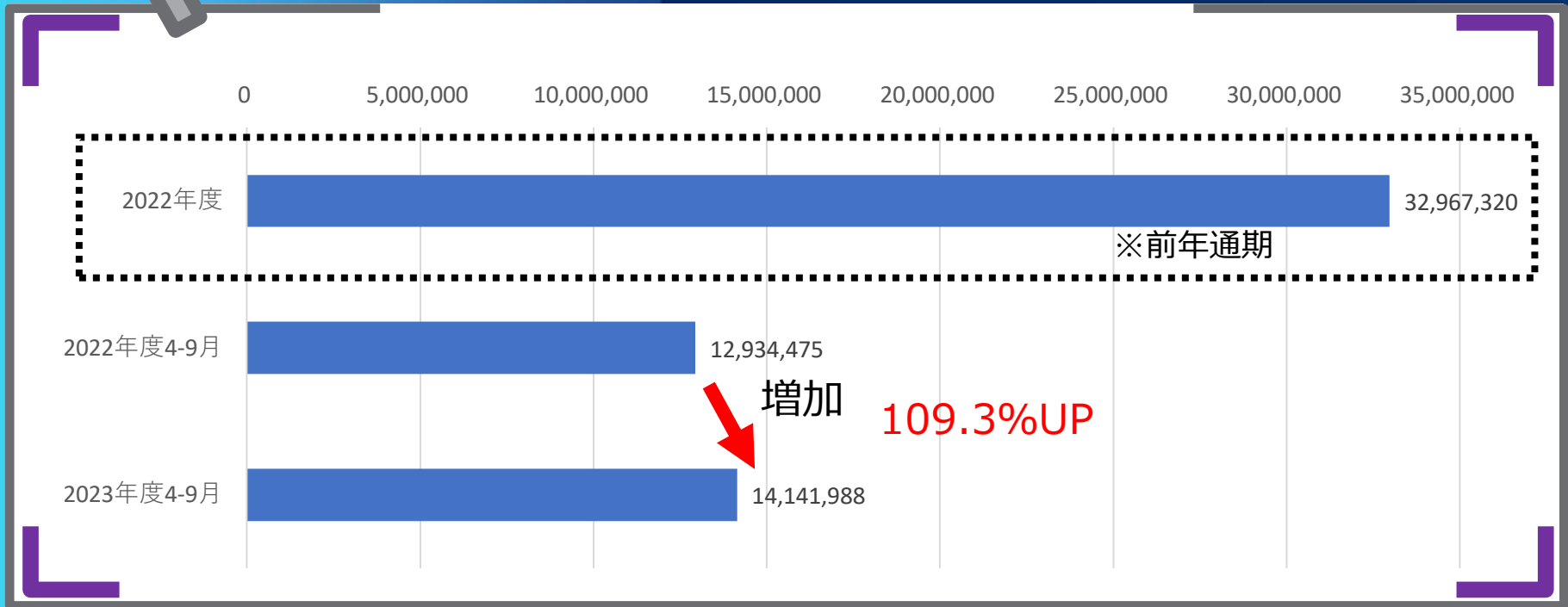
1.道の駅リストアステーションについて

- 道の駅リストアステーションは県内で最初に認定された道の駅で、「特産品館」には新鮮な野菜や加工品があり、その他にこんにゃくやようかん、地酒などの特産品や地域の工芸品も並んでいる。
- 敷地内にはレストラン「avenir town」があり、地元で収穫された旬の野菜をふんだんに使った料理が楽しめる。



2.道の駅リストアステーション売上実績推移

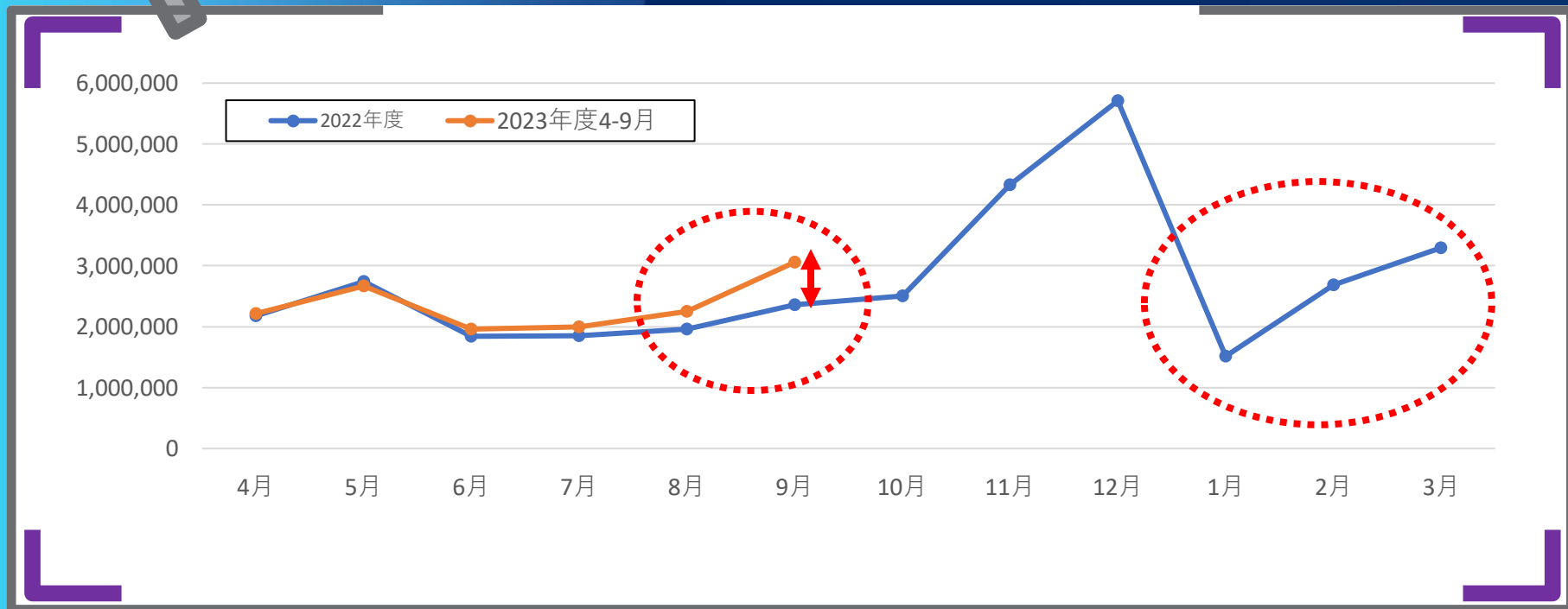
(単位：円)



- ・前年の2022年度の年間売上高は32,967,320円となっている。
- ・2022年4月～9月と2023年上半期の売上を比較すると109.3%増となっている。
- ・上半期の売上については、前年より10%弱増加するなど好調であり、下半期についても売上の増加が期待できる。売り逃しの無いように、品揃えや発注量などに注意が必要である。

3.2022年と2023年の月別売上推移比較

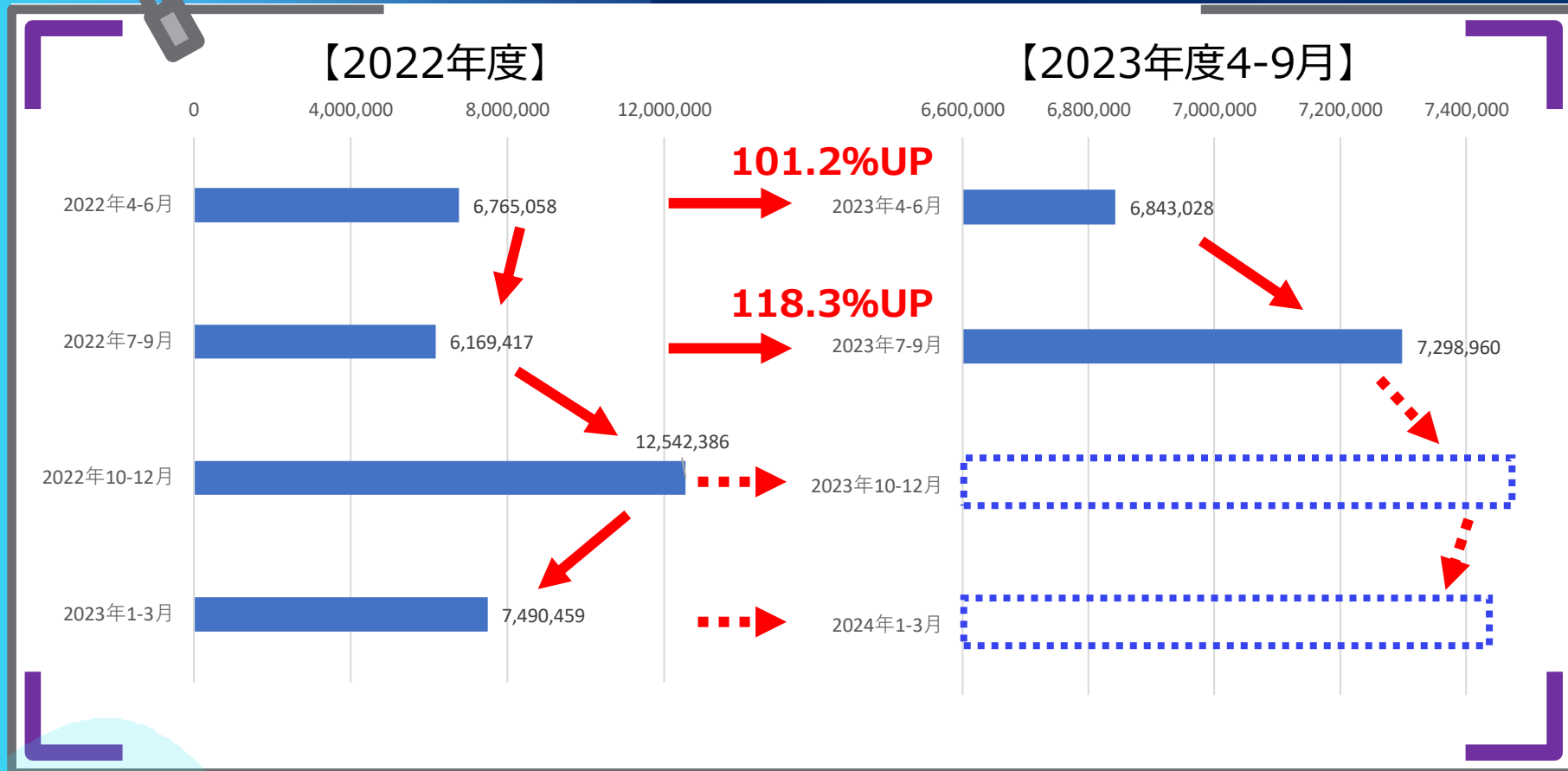
(単位：円)



- ・2022年と2023年の上半期の4月～9月の月別売上の推移を比較すると、前半の第1四半期は前年とほぼ同じ推移であったが、第2四半期については前年売上を超える売上となっている。
- ・下半期についても、上半期と同様に前年を上回る売上が期待できるが、前年は1月に売上が急落しているため、過剰在庫などにならないように、発注や在庫管理に注意が必要。
- ・前年の推移から見ると、2月～3月については売上が徐々に回復することが期待できる。

4.道の駅リストアステーション四半期別売上高推移比較

(単位：円)



- ・2023年度上半期は、第1四半期で前年比101.2%、第2四半期で118.3%となっている。
- ・下半期についても2022年と比較して、10%程度の売上げ増が期待できると思われる。
- ・下半期の売上げ増の予測に合わせて、商品の発注や人員の確保などに注意する必要がある。

5.商品分類のABC分析比較（2022年-2023年4~9月）



2022年度
(通期)

分類	ABC判定
特産品	A
杵つき餅	A
総領の米	A
ようかん	A
野菜	A
お菓子・アイス	A
こんにゃく	A
食品	A
アイス自販機	A
ドリンク	A
化粧	B
宅急便	B
焼菓子	B
ジュース自販機	B
雑貨・その他	B
肥料	C
総領の加工品	C
花	C
酒・ビール	C
総領の工芸品	C
市販品のグッズ	C
ノンアル・酒粕	C
総領の花	C
たばこ販売	C
米袋	C
指定ゴミ袋	C
本	C
キーホルダー	C
パン	C

2023年
4-9月
(上半期)

分類	ABC判定
特産品	A
総領の米	A
野菜	A
お菓子・アイス	A
ようかん	A
食品	A
アイス自販機	A
こんにゃく	A
ドリンク	A
肥料	A
酒・ビール	B
ジュース自販機	B
雑貨・その他	B
花	B
花酔	B
菓子・アイス	C
総領の加工品	C
焼菓子	C
焼菓子	C
総領の工芸品	C
市販品のグッズ	C
米袋	C
花・苗	C
ノンアル・酒粕	C
宅急便	C
指定ゴミ袋	C
加工食品	C
総領の花	C
工芸品	C
キーホルダー	C
本	C
バーコードシール	C
杵つき餅	C
パン	C

【累積売上割合が0~80%までの品目をA、80~90%の品目をB、90~100%の品目をCに分類して分析】

- ・2022年通期と2023年上半期の販売実績を分類毎にABC分析して比較すると左の表となる。
- ・2022年のAランクトップの「特産品」は2023年上半期も不動の1位となっているが、2位の「杵つき餅」は季節外なこともあり、33位までダウンしている。
- ・Aランクについては「総領の米」「野菜」「お菓子・アイス」「食品」「ドリンク」が順位を上げている一方で、「ようかん」「こんにゃく」が順位を下げていることから、これらは季節変動が大きい商品だと思われる。
- ・下半期については、2022年通期と類似した売上順位が予測されることから、2022年を参考にした売場づくりや品揃えを行う必要があると思われる。

6.商品分類のABC分析推移（四半期）

ABC分析の推移（2023年第1四半期・第2四半期）

2023年
4-6月

分類	ABC判定
特産品	A
総領の米	A
お菓子・アイス	A
野菜	A
ようかん	A
肥料	A
食品	A
こんにやく	A
アイス自販機	A
ドリンク	A
花酔	B
ジュース自販機	B
酒・ビール	B
総領の加工品	C
焼菓子	C
花	C
雑貨・その他	C
焼菓子	C
総領の工芸品	C
市販品のグッズ	C
ノンアル・酒粕	C
宅急便	C
指定ゴミ袋	C
総領の花	C
キーホルダー	C
本	C
米袋	C
工芸品	C
杵つき餅	C
菓子・アイス	C
花・苗	C
加工食品	C
パン	C
バーコードシール	C

2023年
7-9月

分類	ABC判定
特産品	A
総領の米	A
野菜	A
お菓子・アイス	A
食品	A
ようかん	A
アイス自販機	A
ドリンク	A
こんにやく	A
菓子・アイス	A
酒・ビール	B
ジュース自販機	B
雑貨・その他	B
花	B
米袋	C
花・苗	C
総領の加工品	C
花酔	C
焼菓子	C
肥料	C
焼菓子	C
市販品のグッズ	C
加工食品	C
総領の工芸品	C
宅急便	C
ノンアル・酒粕	C
指定ゴミ袋	C
総領の花	C
工芸品	C
キーホルダー	C
本	C
バーコードシール	C
杵つき餅	C
パン	C

- ・第1四半期、第2四半期で比較して分析するとAランク内で変動がある。
- ・「特産品」「総領の米」は不動の1位、2位であるが、「お菓子・アイス」「ようかん」「こんにやく」は順位を下げている。
- ・一方で「野菜」「食品」「アイス自販機」が順位を上げている。
- ・2022年度通期の順位と比較すると異なる動きはあるもののAランク商品内での動きが大半であり、全体の傾向としては大きな変化は見られない。

7. 売上推移とABC分析の比較分析まとめ

a. 売上全体の傾向

- ・前年度と比較して、**売上は継続して増加傾向**となっている。
- ・上半期は第2四半期から前年を上回るペースで推移しており、**下半期についても前年を上回るペースで売上が推移する**と思われる。前年を参考にした仕入対応が必要。

b. ABC分析による商品分類毎の傾向

- ・上半期だけでみると「特産品」「総領の米」が売上トップ2であり、**集客や売上の主力商品**となっていることから、重点管理が必要。
- ・「こんにゃく」「ようかん」は前年通期から売上順位が下落している。**季節性の高い商品**と思われるので**下半期には注意**が必要。

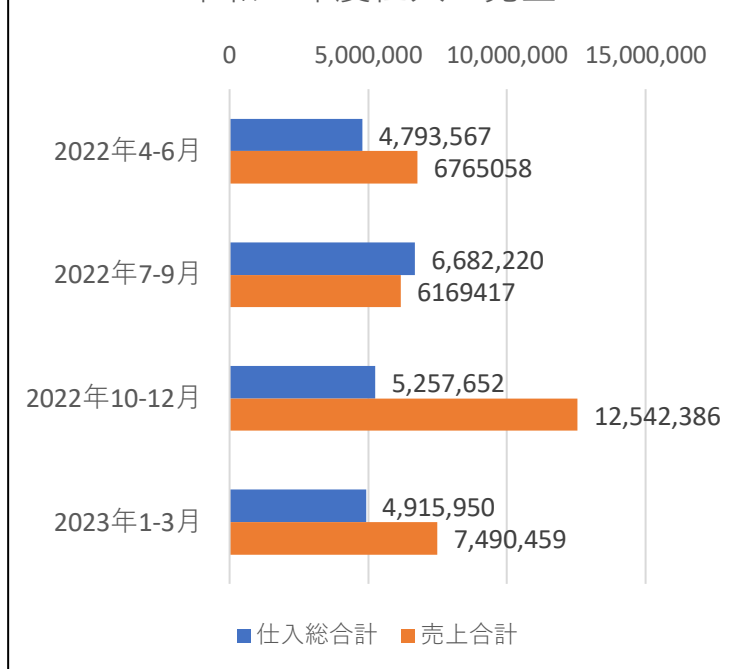
c. 2022年通期～2023年上半期の販売データからわかる傾向

- ・Aランクに分類される商品群は大きな変動はないが、**Aランク内で順位に変動**がある商品もある。これらは季節変動の可能性が高いが、**トレンドが変化している可能性**もあるので、販売推移を見守りながらのきめ細かな対応が必要。

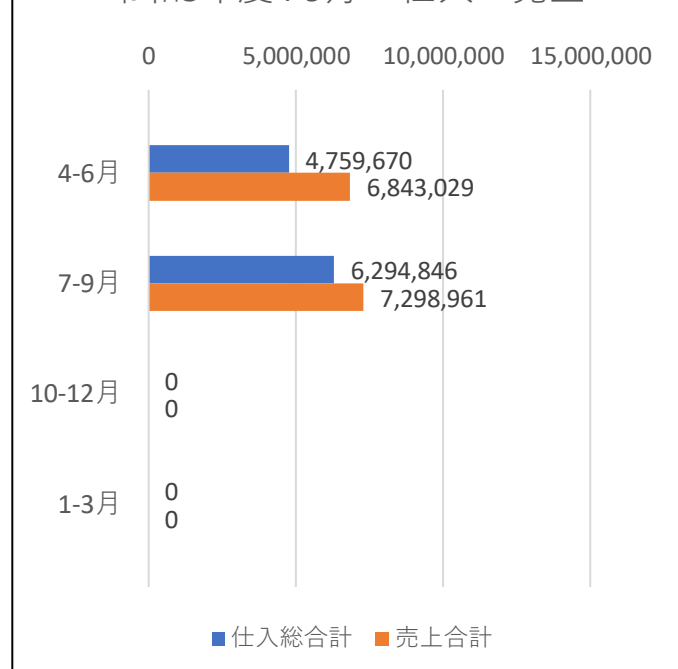
8.上半期の仕入と売上の推移



令和4年度仕入・売上



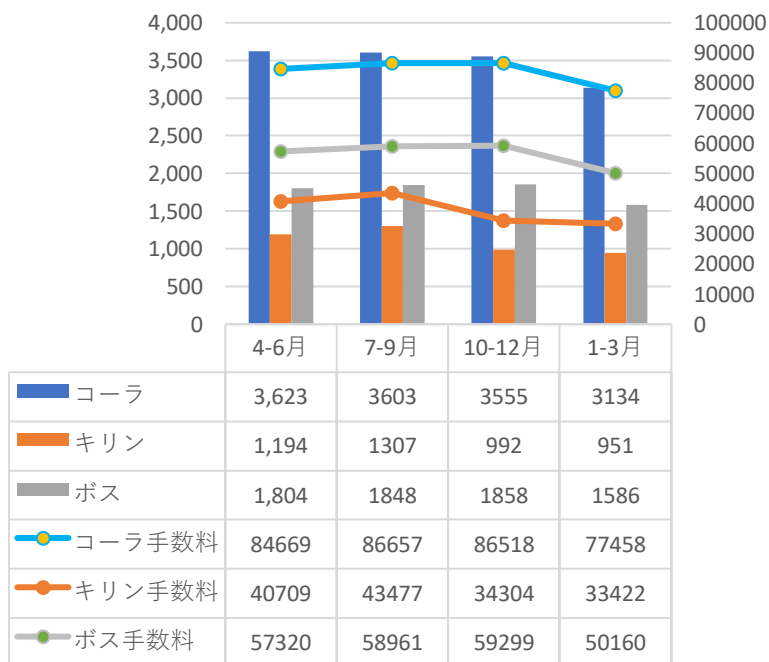
令和5年度4-9月 仕入・売上



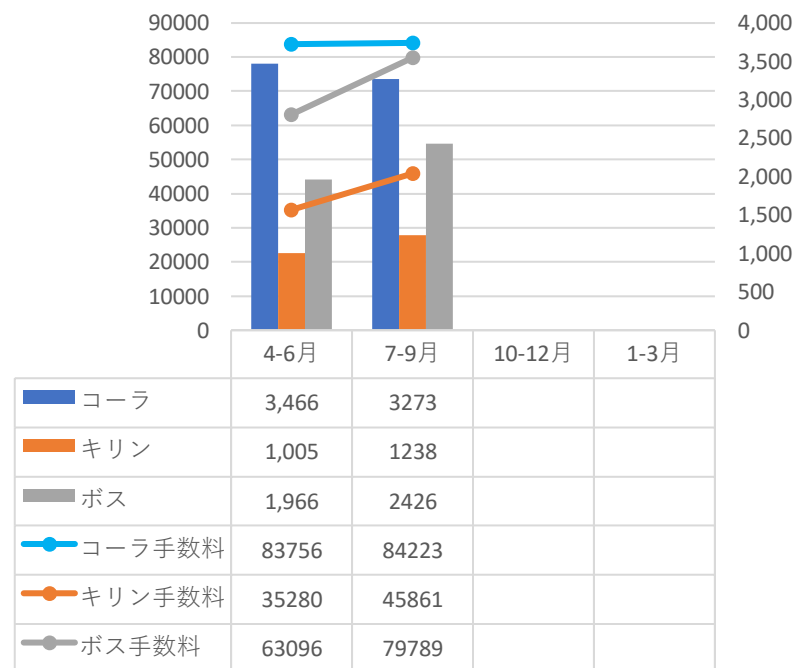
- ・2022年度第2四半期は、仕入が売を上回る状況となっていたが、2023年度については仕入を売上を上回っていることから、売上と仕入れの適正化が進んでいるものと思われる。
- ・2022年度第3四半期は仕入れを売上が倍以上、上回っていることから注意が必要。

9.自販機の販売数・手数料の推移

令和4年度 自販機 販売数・手数料



令和5年度 自販機 販売数・手数料 4-9月



- ・自販機については売上、手数料ともにコーラが最も大きくなっている。手数料と売上の推移は同一。
- ・コーラ、キリンについては2023年度は第1四半期、第2四半期ともに前年を下回っている。
- ・ボスについては2023年度は第1四半期、第2四半期ともに前年を上回っている。